

CONCEPT

Features symmetrical outlook with
East Coast Victorian style.

Living here makes every day
Your life story begins here.

One great adventure after the next.

B
BOWCS

Sustainable housing
A memorable life

Increase the asset value
Feel a sense of belonging

TND-Project Vol.2

今回の住まいは、BOWCSがデザイン&設計・施工、トータルコーディネートしたものだが、そもそもはタイルのご相談を受けるというだけの役割だった。

お話の中で、ご主人がワシントン州東部のスポケーン郡に留学した際に過ごしたホストファミリーの家に対する帰属意識のお考えと、当社社長が学んできたアメリカン住宅の考え方が重なっていることに端を発して、ご主人が抱いていた他社住宅メーカー（Mホーム）の計画の違和感を解消するために、違約金を払い契約解除までした上で、計画の見直しをご決断されたものである。

当社は、長年にわたり、全米各地を視察し、アメリカの住まい・住宅地開発のノウハウを研究。伝統様式やトレンドも熟知することで“本物の美しさ”を提供している。今回の住まいでも、アメリカンデザインの様式美に豊かなノウハウとセンスを融合させることで、多彩な空間コーディネートを実現している。

素材、カラー、プロダクトの無限の組み合わせから最適な解を見つけ出し、内外装建材から水回り設備まで、細部に渡って本物にこだわった、伝統的なアメリカン住宅である。



BOWCS 請負システムは、設計～見積り～契約～着工～完成までの工程が、多くの既存住宅産業のそれとは大きく異なる。従来、設計～見積り～契約までは「概算」が通例で、完成までに度重なる打ち合わせを貴重な休日を使って行い、都度仕様変更や追加工事が積み増してゆくことがほとんどだ。しかし当社では、外観デザイン、間取り設計、外構プランを練り、施主からの了解を得た後、設計契約を結ぶ。そのプランに採用する仕様の全てを決定してから本契約となるので、着工後にはほとんど打ち合わせを必要とせず、施主は完成を待っているだけで、計画通りの住宅を手に入れることができるのである。これは、現場でも最初から全てが決定していることにより、作業が中断する事が少ないため、工期短縮とコストパフォーマンスを高めることにもつながっている。



Appearance1

当物件は道路より 1500mm ほど低い宅地で、南側は田園調布でも有数の大変交通量の多いタクシー通りということから、安全面を考慮した東側の2Fからのエントリーを採用した。

玄関は道路より約 1/2 フロア上げて設ける必要があり、そのイメージとして「ヴィクトリアン」テイストを採用し、東海岸で頻繁に目にする事ができるブリックとサイディングの使い分けによるデザインにしてある。

通常なら玄関を設置する壁をブリックにしたいところであるが、当地の特性と東南角地という立地を加味し、交通量の多い南側に切妻屋根の大壁面を設けブリック仕上げとした。

南面の開口部はシンメトリーに配置し、全体として交差点エリアでのEYE STOPを考慮した景観づくりに配慮している。



施主のご希望 ご主人様：暖色系でまとめる 奥様：グレー色を使う

Appearance2

南面のバルコニーは本来木製で造りたいところであったが、耐久性やメンテナンスに対する不安要素があったため鉄骨で製作。そのベースに樹脂製のデッキを敷いて、さらにメンテナンス面の優位性を持たせた。そして同製品を1階庭に繋げて、家族や友人の憩うに十分な面積のデッキスペースを確保してある。

ある一定のプライバシーの要求があったため、南面のピケットフェンスに加え、コニファー・レースで囲う事になった。現在はまだコニファーが未成熟なため、充分とは言えないが、きちんとしたプライバシーが造られるまで、そう長くはかからないだろう。

「右下」
ブリック面の窓廻りには実際のレンガ組積に見られる、日本的にはかなり大きめのキーストーンとフラットアーチを配置するなど、各所に積みレンガのデザインを大切に表現している。

外灯は輸入のアイアンブラケット (CAN'ENTERPRISES) を明暗センサーでコントロールしてある。



Vinal Deck Piket Fence Conifer Lace



Key Stone Flat Arch

Layout

Customer Order

LDK 広く、個室はマスターベッドルームの他、子供部屋 x3

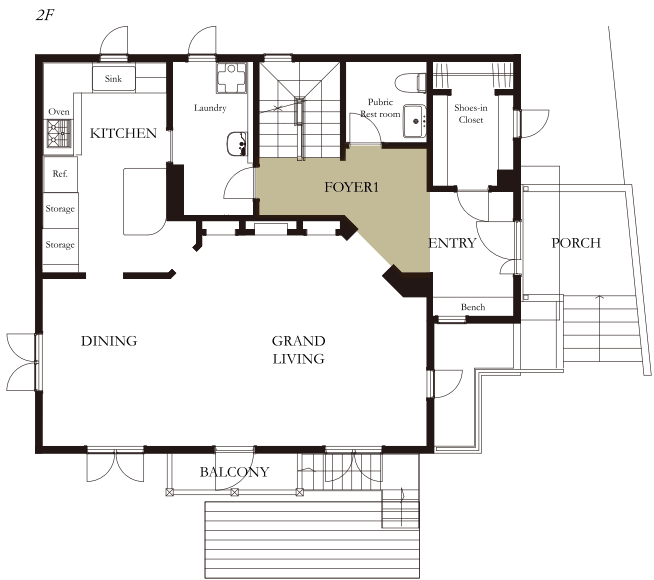
基本設計はオープンプランニングとしているため、全館空調での温湿度調整を行っており、年中どこに 居ても快適に生活することが出来る。

間取りにおける特徴は、我が国の十軸動線のための計画が多いが、X 軸（斜め 45°）動線（FOYER1）を用いた事で、よりアメリカの住宅らしさを表現するとともに、来訪者が受ける『ワクワクする』ようなフィーリングを醸し出している。

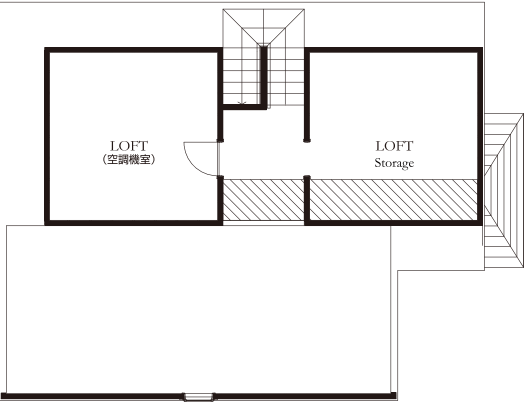
特に子供部屋（BEDROOM1&2） 入り口面を斜めにする事によりできた小ホールが狭い空間にゆとりを生み出している事が判るだろう。（FOYER2）

A 様邸 Data

トータルプラン・設計：ボウクス株式会社代表取締役 内海健太郎
インテリアコーディネイト：内海恵子
水周り空間コーディネイト：ボウクス株式会社開発推進部
所在地：東京都
途地域：第一種低層住居専用地域 容積率 80%/ 建蔽率 40%
敷地面積：198.35m²
工事種別：新築一戸建て住宅
構造：木造壁式工法 2階建
延べ床面積：154.02m²（46 坪） ロフト：34.78m²
工期：2015 年 8 月～2016 年 4 月 ＊外構工事除く



Loft



主な仕上げ材料

外壁：ブリックタイル張り、キーストーン（CAN'ENTERPRISES）
下見板張り（ラップサイディング）
ポーチ・アプローチ床：鉄骨組コンクリート下地 300 角磁器タイル張り（BOWCS）
内装：壁天井 ドライオール工法、
床無垢フローリング、600 角磁器タイル張り（BOWCS）
浴室パウダールーム：壁 70x280 磁器タイル張り（BOWCS B'stile）
床 300 角磁器タイル張り（BOWCS B'stile、名古屋モザイク）
2 階トイレ：壁 300x900 陶器タイル、モザイクタイル張り（BOWCS B'stile）
床 600 角磁器タイル張り（BOWCS）
キッチン・洗面カウンタートップ：御影石
什器：浴槽、洗面シンク、水栓、ミラー（KOHLE, GROHE）
キッチン（MERIT, MIELE）
照明器具：シャンデリア・ペンダント・ブラケット
（DESIGNERS FOUNTAIN, Pottery Barn）

Living room & Dining room



ダイニングテーブル（Restration Hardware 社製）サイドテーブル（Ashley 社製）

壁は本邸インテリアのメインカラーとなる、若干暖色をいれたグレー系、ケーシング、幅木などの木部をグレイッシュホワイトで統一。
床材には木目が際立つハックベリー材のダークブラウン色をチョイスした。
金属類（各所ノブ、シャンデリアなど）のほとんどをシルバー系に合わせることが、現在アメリカで最も多く見られる最新のカラーコーディネートである。
また、造り付けの棚の両脇から挟まれるように、当社オリジナルデザインのマントルピースが鎮座し、通常はその上に絵画や額縁に入れられたミラー、その両脇にブラケット照明を配置するのが本来伝統的なカタチだが、昨今アメリカでは薄い大型テレビの出現によって、マントルピース上にテレビを壁掛けにする傾向が強まっているため、空間の有効活用にこのスタイルを模倣した。

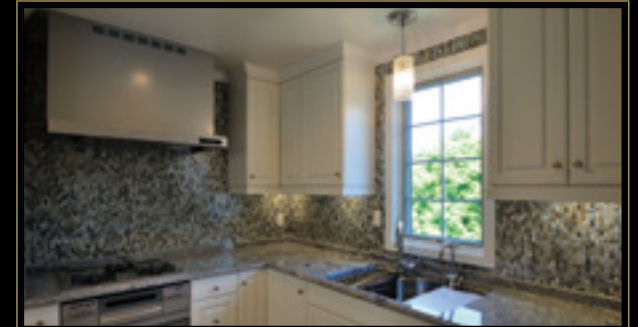


Kitchen



キッチンには完全なアイランドカウンターではないものの、トップに採用したダイナミックな石目が入ったグラナイトと、細かな縦長のガラスモザイク、そして白いキッチンパネルが上質感を生んでいるだけでなく、実用性も持ち併せたレイアウトと設備（Mille 社製食洗機、蒸気排出機など）が設置されている。

キッチンはユーティリティと並設しているため、食品庫や洗濯など、家事のほとんどをこのエリアに集約させて合理性を高めている。



Public Rest room

BOWCS が提案するこれからのトイレ空間。

欧米では当たり前となっているこの形態だが、なぜ日本ではペDESTAL シンクという物はあまり取り入れられて来なかった。

最近になってようやくシャンプーや化粧水などのテレビ CM や雑誌での登場機会が増え、女性達にとっての憧れのスタイルとなりつつある。

壁面には大判の暖かみあるマーブル調タイルに、ラスター釉がかけられた同種モザイクタイルをアクセントに採用。

グレー系の 600 角床タイルにシルバーで統一した金具類と併せ、より清潔感のある高級さを演出している。

レストルーム設備仕様

手洗い器 : Archer Pedestal K-2359-8-0

水洗金具 : Memoirs Widespread Lavatory Faucet K-454-4V-CP
(以上 KOHLER 社製)

照明 : 84903-SN (CAN'ENTERPRISES)

レストルーム仕上げ材

壁 : BOWCS B'stile Stonevision

床 : セジェスタ (名古屋モザイク)





Foyer1



Shoes Cloak 玄関右には家族の靴がたっぷり入る広めのシューズクロークとコートハンガーを配置



Bedroom3



Foyer2

カラーリングが特徴的な2つの子供部屋。長女の部屋の壁は淡いグリーンのドライウォールにラベンダー色のカーテンを、次女の部屋はほんのり紫掛かった水色の壁にピンクのカーテンをそれぞれコーディネート。反対色とも言えるそれぞれを思い切って配色することによって、アメリカンでポップなカラーコントロールを実現した。オフホワイトにクリスタルをあしらったキュートなシャンデリア、カーテン、レース、シルバーのレールとタッセルなど全て Pottery Barn 社製を直輸入。家具、調度品、造作木部はホワイトに統一し、お姫様のような可愛い部屋となっている。もうひとつの予備室（Bedroom1）は用途を選ばないベージュ色のドライウォールで落ち着いたと明るさの両立を狙った。



Bedroom2



浴室仕上げ材 壁：BOWCS B'stile All Marble 床：BOWCS B'stile Atlantis



浴室設備仕様 ユニツバス：UM036-1620NA-1-A-9 浴槽：KOHLER K-1121-O ホワイト（以上 KOHLER 社製）

Bathroom
Powder room



パウダールームには御影石カウンターにダブルシンクを配置し、トイレも同じ空間内に収め、タイル仕様の UB はクリアガラス戸にすることで、大きなひとつの部屋の中で豊かなバスタイムを享受できるように演出している。壁面には、全体的なデザインコントロールとして、2010 年以降アメリカで圧倒的なトレンドとなっているホワイターマールのレンガ貼りを採用した。さらに、このパウダールームへはマスターベッドルームからウォークインクローゼットを通り、ダイレクトにアプローチできるアメリカン仕様としているが、他の家族用にもうひとつのドアを設け、前述小ホールからも入れる 2WAY の動線を確保。それは、夫婦と家族それぞれのプライバシーを守られる新しい提案として今後のスタンダードとなるだろう。

HIGH QUALITY SPACE
**BATHROOM IS THE
BEST RELAXATION
AREA.**

RETURN TO LIFE OF THE GREEK
ARISTOCRACY.

次世代へつなぐ住環境をつくる

TND PROJECT

Traditional Neighborhood Development Project

TND とは欧米において数百年の実践から導かれた住宅地の在り方
Traditional Neighborhood Developments = 伝統的隣住区開発の
略で、米国では現在でもその理論に基づいて計画して住宅を供給し、
国民の資産が形成されています。

私達は、欧米並みの名実共に資産として価値ある住宅地の実現に向
けて、私たちの出来る範囲で、着実に TND-PROJECT を進めて参
ります。

